



### 但馬地域ビジョンとは

但馬地域の住民一人ひとりが但馬の「夢」を描き、その実現に向けて何ができ、何をしていくべきか、知恵を集結して形にすることを趣旨として策定されたものです。

### 将来像

#### 自立の郷

地域の力を結集した  
「活力みなぎるたじま」

#### 賑わいの郷

交流人と共に創る  
「楽しみあふれるたじま」

#### 癒しの郷

自然や文化、風土を活かした  
「潤いと安らぎに満ちたじま」

#### 慈しみの郷

共に励まし、助け合って  
「生きる喜びを分かち合うたじま」

### 行動目標

人づくり、産業づくり、  
誇りづくり、安心づくり

### 目指すべき方向

「あしたのふるさと」とは、そこに住む人々だけでなく、訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち合える「交流・共生」の地域の姿です。

発行/但馬夢テーブル委員会

事務局：但馬県民局 地域政策室 協働推進課

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町 7-11 TEL 0796-26-3647 FAX 0796-23-1476



02 但馬@2-006A4

# 但馬地域ビジョン・但馬夢テーブル委員会 コミュニケーション誌

## たじま 夢つうしん

### 第29号 2021.2



## リモートでも つながる

### 但馬 夢テーブル 委員会



但馬って  
楽しい!!



## 但馬夢テーブル委員会とは

「こんな但馬にしたい!」といった、但馬の将来像を描いた地域ビジョン(夢)の実現を目指し、行政主導型ではなく、私たち住民が自主的な活動をボランティアで企画・実践する委員会です。

第10期では、令和2年4月から令和4年3月までの2年間の任期で、71名の委員が活動しています。



私たちは持続可能な社会を目指すSDGsも意識し活動しています。

## 活動紹介① 楽しい田舎キャンパス

農業従事者の高齢化等により農地の荒廃が進んでいます。この問題に取り組み、「人々の交流」を目標に掲げて、4年前から荒廃農地を再生しています。

3年前に夢テーブル委員会で「楽しい田舎キャンパス」が誕生しました。最初はピーマンと薩摩芋だけの耕作でしたが、第1回収穫祭や里山整備の講演会を開催しました。昨年は、家族で楽しんで頂けるように花を植え、健康野菜ヤーコン、神仏花木を追加し、ミニアスレチックも設置。第2回収穫祭を開催しました。

今年は微生物も住める畑土となり、ジャガイモ、大根、白菜、キャベツを新たに加え、実証耕作しています。更に実なる

イチジク、サンショ木も植え付け、ヤーコンの葉をお茶に加工して茶話会を実施。第3回となる今年の収穫祭は、夢テーブル委員会の4つのチーム(「おむすびの会」、「天日檜プロジェクト実行委員会」、「但馬ONラインマーケット」、「SLGs」)で共同開催し、家族連れや子供たちの笑い声が響く、にぎやかなイベントになりました。

1年中ワクワクドキドキする「ひふり農園」になるように活動を進めてきました。夢テーブル、いや夢農地として、次年度はPR活動と販路の開拓、ヤーコンの加工で再来年には組織化を目指します。地域人に役割を提供し地域が活性化することを夢見て今日も活動中。



## 活動紹介② 大人の放課後

『但馬は遊ぶところも若者が集まる場所もない...』『毎日家と会社の往復だけ...』  
 そう思う但馬の大人、意外と多いのでは?

私たち『大人の放課後(通称:おとほー)』は、但馬内のサークル・団体・イベントの情報を取りまとめ、インスタグラムで紹介しています。

- 但馬で暮らす社会人にとって、
- ・職場でも家庭でもない、いわゆる“大人の放課後”の場をさがす
  - ・新たな仲間をつくる
  - ・但馬の新しい過ごし方を見つける

- 但馬で活動するサークルにとって、
- ・活動を更に盛り上げるためのPR
  - ・メンバー募集等の場

こんなふうに、但馬のひとにとって、地元の暮らしをより楽しくするきっかけになるよう、私たちは発信していきます!

集まれ! 但馬のサークル!  
 集まれ! 但馬の大人たち!



Instagram アカウントはこちらから!  
 QRコードをスキャンするか、  
 『あつまれ! 但馬のサークル』で検索してくださいね。

## 活動紹介③ ~手を取り未来へつなぐ~おむすびの会

社会全体で子供たちを守り、共に育っていけるようなそんな未来でありたいと願い、おむすびの会を立ち上げました。

『互いを尊重し、選択できる未来のために、親子で賢く楽しむ』をコンセプトに、世代を超えて共に学び、育ち合える環境を目指しています。

今年度は「体の仕組みとワクチンを考える会」「手作り調味料“醬”づくり」を行い、醬づくりの会では、活動名である『おむすびの会』の名の通り、日本人の基本であるおむすびとお味噌汁でお昼ご飯を共にしました。食事は派手である必要はありません。どんな環境でいただくかで、大人も子供もきっとその満足度は変わります。

子供は子供同士で遊び、お母さんは言葉を交わし合いながら料理をし、子供たちを見守る。この距離感から生まれる心のゆとりは、子育て真っ只中の暮らしでは、中々持てません。そんな気づきを得た今年度の活動は、回数こそ少ないものの、とても貴重な時間でした。来年度はおむすびの会の定期開催を目指し、オンラインも取り入れながらありたい未来へと活動して参ります。



# チームdots

但馬のすばらしさを YouTube で配信する  
チーム「dots」のどっつどっつTV

合言葉は「connected 但馬」

愛する家族を含めた、この世界のすべての人が笑顔で触れ合える。

そんな世界を作っていくことを目的として、私たちは活動しています。

【そのとっかかりとして】

但馬地域の「明るい」・「やさしい」・「情熱」をもった活動・但馬のすばらしいところを伝えていきます。

そうすることで、地域に暮らす人々にとっても「但馬のすばらしさ」が浸透すると考えています。



【具体的にどんなことをするのか】

お堅くない YouTube チャンネルを開設し、ひとつの放送局のように活動しています。

但馬各地のイベント等の紹介動画を作成し、但馬のすばらしさをひろめ・共有していきます。

【今のままではいけない、のりおくれしないで！】

みなさまからも取材依頼をお待ちしています。イベントだけでなく、インタビューも大歓迎です。どっつどっつご連絡下さい。

取材のご依頼・申し込みは YouTube チャンネルにてコメントして頂くか、但馬夢テーブル委員会事務局へお気軽にご連絡下さい。



YouTube

# 天日槍プロジェクト実行委員会

但馬の古代製鉄文化を検証する天日槍（アメノヒボコ）プロジェクトは新たなコミュニティ作りを目的に情報収集などの活動を通じて多くのご縁に恵まれました。プロジェクトの成就を祈願に訪れた出石神社や法城寺、そして但馬の地質を学ばせていただいた玄武洞ミュージアムや山陰海岸ジオパーク館での、但馬に誇り持つ皆様との出会いは貴重な財産となりました。またこのご縁は「天日槍」の物語に導かれ但馬を飛び出し、兵庫県粟粟市千種町「たたら里学習館」で行われた千

種中学校の「たたら製鉄実験」の見学も叶っています。そして天日槍を祀る出石町で活動される「楽しい田舎キャンパス」チームには連携のご提案をさせていただき、収穫祭では場所をお借りして子供達をはじめ更に多くの交流に恵まれました。

天日槍に導かれ行く先々で出会う有志の皆様には大変な熱量を感じ、今後は皆様のお力を繋ぎ但馬に人が集う事業を目指したいと考えています。



# たじま夢ちゃんねる

私たちのチームは、「但馬の豊かさに気づいてほしい」という思いから、SNS や動画やセミナーなどで情報発信に取り組んでいます。

但馬地域は豊かな資源に恵まれ、海幸山幸の食材は特級品で、古代から鉄文化の先進地であり、農耕や養蚕、衣食住に関わる生きるために必要な資源が豊富にあった地域です。その技術も優れていて古代から今に繋がる人々の暮らしや産業があります。

特に古代史においては、とても重要な地域で出雲・大和・

伊勢など日本のはじまりに但馬が大きく影響をしているということを知られていません。さらには、神代の豊受大神やササノハ命、大国主命や古代天皇に繋がる神功皇后のルーツ天日槍など王族がいた地域です。その歴史こそ宝であり、歴史には今を生きるためのヒントが沢山あります。

そんな但馬の豊かさをテーマに情報発信し、知ることでもっと但馬が好きになり、誇りに想って頂けるような活動をしていきます。古代丹波歴史研究会とコラボした「蘇るタニハ王国プロジェクト」として動画制作配信中です。



# SLGs

“SLGs”とは“SDGs”という国連が掲げた目標を、日常生活に取り入れようと『持続可能なライフスタイルの提案』という意味で名付けました。

『笑顔でいられる未来のために、今から笑顔を始めよう』をコンセプトに立ち上がった本グループは、環境だけではなく、広く視野を持ち、一人一人のあり方を大切に活動の軸としています。

集まったメンバーそれぞれが、自分の興味関心の深い意見を持ち寄り交わされるミーティングは、毎回テーマが違えど、行き着く先は皆同じという、大変不思議で面白い有意義な時間となっております。

時節柄思うように活動ができず試行錯誤をしておりますが、これもまたメンバー募集のプレゼンで掲げた「今できることをやる」という言葉にも通ずる、必要な時間なのかもしれません。

今後も SDGs に関する様々なテーマを持ち寄りながら『本当に大切なものは何なのか』という意見交換ができる場を継続して作っていきたいと思います。

笑顔でいられる未来のために、今から笑顔を始めよう。



未来のために、今できること

完璧でなくていい。始めることが第一歩。1人の100アクションより、100人の1アクション

聞くだけでも、観てない方も歓迎！映画会（お話し会）のお知らせ

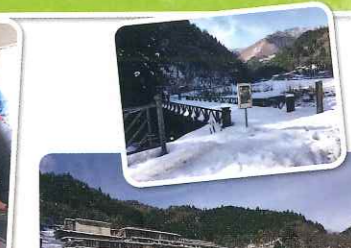
「ムヒカ」世界で一番美しい山脈の日本へ！

【12月22日(水) 13:10〜「ピアドリット」】

【12月27日(日) 10:00〜 映画「ajito」内】

# 但馬力高め隊

【但馬力高め隊】は、「但馬を深掘り&再発見」をテーマに、あらかじめ選んだ観光資源・地域をストーリーに基づいて探訪するチームです。但馬の地元の人は知っているも、ガイドブックにはなかなか出てこない「但馬の隠れた観光地」も巡り、紹介します。得意エリアでは、隊員自ら勉強しガイドできる様になれば、我々隊員の達成感も味わえるはず！と、楽しみながら活動を行っています。



# 里山ミツバチプロジェクト

私たちのチームは、日本古来の在来種の日本ミツバチを増やすことで農業・環境保全に貢献することを目標に、新しい巣箱にチャレンジし、日本ミツバチが自由に飛び交う環境をつくる活動をしています。

## 春

我々メンバーにとっては、一番楽しみにしている時期です。みな童心に返り、子供のようにはしゃぎながら、目標に向かって活動を始めました。暖かくなると、新居を求めて日本ミツバチの偵察蜂が待ち箱にやってきます。1匹が2匹、3匹とだんだん数を増やし、しばらくすると、数千匹の群れになって一気に箱に入ります。我々メンバーは、毎日何回も連絡を取り合い、状況確認に追われ、盛り上がる頃です。



## 6月～9月にかけて

ミツバチたちは活動のピークを迎え活発に働き、24時間フル稼働です。箱の中はミツバチで溢れかえっています。まさに絶頂期です。

私達は、毎日観察を続け、ハチノスツツリガやアカリンドニ対策で内検をします。そして、ミツバチを襲うスズメバチから巣を守ります。



## 10月～12月にかけて

今年の集大成として、採蜜をしました。秋も深まり、天敵のスズメバチも数が減り、気温が10度くらいに下がると、いよいよ冬越しの準備です。ミツバチ達は、小さな箱の中で体を寄せ合い、体温を30度くらいに保ちながら、春を待ちます。私達も来春に向けて準備を始めています。

# 但馬いかそう会

私たちのチームでは、エネルギーの地産地消を目指し、但馬の水資源を小水力発電に活かす研究をしています。

但馬にある話題の水車小屋。秘境の瀬川渓谷やブランド米(とろかわの恋)を栽培する棚田等を有する山陰海岸ジオパークの散策コースの出発点であり、拠点でもあります。

水車小屋は、香美町村岡区板仕野にあり、3年前より土日営業を再開し、シンボルである直径が3メートル級の大型

の水車で米をつき、水車米のおにぎりとして提供しています。

そこで、本年度、私たちチームは、水車小屋に出向き、経営者に豊富な水を活かす方法について説明しました。快く賛同を頂いたので、この場所で小水力発電に取り組むことにしました。

その結果、この度、数々の難関を乗り越えながら、見事に12V、20ワット程度の電力を蓄電することに成功しました。

現在は、営業を知らせる回転灯やイルミネーション、獣害対策用の電気等に使用して頂いています。是非一度訪ねてみてください。



# キャリア・コネクト

人は、他者や社会との関わりの中で様々な役割を担いながら生きており、その役割を果たすことを通して自分の価値を見だし、自身を成長させます。このグループは、中高生が様々な役割を疑似体験することをサポートし、その体験を通して「地域社会とのつながりの持つ価値」に気づいてもらえることを目標に活動しています。

地域と関わりたい、接点のなかった人と話をしてみたい、挑戦してみたいことがあるという中高生がいたら、気軽にお声掛けください。全力でサポート致します。



# 但馬の日本酒を知る

酒蔵は、杜氏を中心に数人～十数人の蔵人がチームを組んで酒づくりをしているので、杜氏の数だけ酒の種類があるとされているそうです。

そこで、私たちのチームは「但馬の日本酒」に注目し、但馬内外に発信することで、地域の活性化や観光に繋がりたいと考えています。



発信の手段として、①酒蔵の歴史、②水や米など原材料へのこだわり、③飲めない人のために甘酒やスイーツ等々の情報をまとめたマップを作成しています。

但馬の各蔵と協力して試飲会も開催する予定です。

新型コロナの影響で活動期間が短いですが、最後までみんなで協力していいものを作り上げたいです。



# 但馬ONラインマーケット

オンラインを活かした元気な地域づくりを目指し、リアルとオンラインを併用したフリーマーケット型の「善意バザー」を不定期で開催しています。



# BookTalk

自分らしい豊かなライフスタイルを実現するために、本からの学びをシェアし、意見を交わす読書会を開催していく予定です。

# Online×REAL

新たなコミュニケーションの場づくりを極めてゆきたいとの想いから、様々なスタイルのオンラインサロンを開催しています。

ワーク型、学び型に大きく分けられますが、進行方法や役割分担、合図などを常にアレンジ。実体験を繰り返し、運営技術を高め、それぞれがまた別のコミュニティで活かす事で、社会を良くしたいです。



# club 1984+

「本音にこだわる」をテーマに掲げ活動し、高校生を対象にした、企画を考える力を育てるワークショップを実施しました。

